

衆議院議員 玉城デニー FAXニュース (9/13号)



◆ 災害対策市民セミナー「今、津波を考える」開催！

9月10日(土)沖縄市泡瀬地域にある沖縄市福祉文化プラザにて、災害対策市民セミナーVol.1『今、津波を考える』と題し、専門家である富田孝史氏【(独)港湾空港技術研究所アジア・太平洋沿岸防災研究センター上席研究官】を招いてセミナーを開催いたしました。今年3月に甚大な被害を招いた東日本大震災での教訓をもとに、地震や津波の脅威、またそのメカニズム等を理解することで、日頃の備えと防災意識の啓発につながれば、との思いで企画、当日会場には大勢の参加者がつめかけ、皆さまの意識の高さが感じられました。

富田先生からは、津波のメカニズムや東日本大震災での被害状況から見る今後の防災の考え方、また被災直後の対応の仕方などを詳しくお話していただきました。その後の質疑応答の時間ではいろいろな質問が飛び交いましたが、最も関心が高かったのは、現状の避難場所でのいいのか、避難経路や避難と車との関係など実際の生活に関わる問題から、今回の震災を受けて国や市が取り組んでいること、またその進んでいる状況など行政の対応についての質問などがあげられ、国政の現況等を玉城デニーが説明いたしました。

今回のセミナー開催で、日頃から防災について考えることが「いざ」という時に役立つということを改めて感じました。これからも玉城デニー事務所は皆さまの関心の高い、生活や防災等についてのセミナーを開催していきたいと思っております。是非今後ともよろしくお願いいたします。



<会場内>



<富田先生の講演>

災害時の備え



記者席

○…東日本大震災発生時、不通の電話に代えて短文投稿サイト「ツイッター」で知人の安否確認をした玉城デニー衆院議員(民主)。沖縄市内で災害対策セミナーを開き、災害時のツイッター活用も提言した。一方で「最後はアナログに頼るしかない。情報を得たら『津波だ、逃げる』ととにかく大声を出すことだ」と強調。「災害対策に政治色は関係ない。市民に意識を高めてもらいたい」と今後もセミナーを開催し、備えの大切さを訴えることにしている。

<9月13日琉球新報より>

◆ シルバー人材議連設立に玉城デニーが尽力！



<設立総会にて>

玉城デニーが設立発起人として準備をしてきた民主党「活力ある高齢社会の実現を目指す議員連盟」が8月25日に正式に発足しました。

この議連は就労などを通じて高齢者が社会参加する仕組みを目指すもので、発起人代表として挨拶に立った小沢一郎元代表は「いつまでも生きがいを持って人生を送れる社会的システムを作る必要がある。それが老人医療や年金問題を解決する本当のあり方だ」と述べ、シルバー人材事業の意義を強調しました。

配信停止やご意見などございましたら、ご連絡をお願いいたします。

平成 23 年 9 月 13 日 発行：民主党沖縄県第 3 区総支部（玉城デニー事務所）

TEL.098-929-2416 FAX.098-929-2005